

第1号様式（第30条関係）

鉱物の掘採等の許可申請書

年 月 日

様

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあっては、名称及び代表者の職・氏名）

電話番号

高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例第(13・14)条第1項第1号に掲げる行為の許可を受けたいので、同条例第17条第1項の規定により次のとおり申請します。

行為地の住所	地目（現況）	実測面積（m ² ）	区域の区分
			1 回廊地区 2 保全・活用地区
			1 回廊地区 2 保全・活用地区
			1 回廊地区 2 保全・活用地区
行為の規模	行為の面積（ ）m ² 法の高さ（行為地内の最大値を記載してください。）（ ）m		
行為の目的及び概要			
行為の場所を選定した理由			
設計者 又は 施工者	住所		
	氏名	電話番号	
行為の予定期間	着手予定日 年 月 日から 完了予定日 年 月 日まで		
他法令の許可等の状況	法令名（ ）審査の状況（ ） 法令名（ ）審査の状況（ ） 法令名（ ）審査の状況（ ）		
添付書類及び図書（施行同意書のほか、右の書類及び図書を添えてください。）	1 位置図（1/50,000以上） 2 現況図（1/5,000以上） 3 現況写真（カラー写真） 4 計画平面図（1/1,000以上） 5 標準断面図（1/100以上） 6 排水施設計画図（1/1,000以上） 7 遮蔽を要する場合は、遮蔽施設構造図（1/100以上） 8 沈砂池を設置する場合は、設計計算書及び構造図 9 土地登記事項証明書及び公図（行為者がその土地の所有者である場合は、納税証明書の写しでこれに代えることができます。）		

- 注 1 行為地が回廊地区の場合は、「行為の目的及び概要」欄は、高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例施行規則第22条に規定する行為の許可の基準に係る技術的細目に関する事項を記載してください。
- 2 行為地が保全・活用地区の場合は、「行為の目的及び概要」欄は、高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例施行規則第28条に規定する行為の許可の基準に係る技術的細目に関する事項を記載してください。
- 3 行為者がその土地の所有者である場合は、施行同意書は必要ありません。

第1号様式（鉱物の掘採等）の行為の概要に関する書類

（生態系の保全）

基準項目	記入欄
①重要な動植物の保全	a. 特定植物群落の生育地である b. 特定植物群落の生育地でない ※「高知県四万十川流域環境配慮指針に基づく重要な動植物の分布に関する資料；A2版」（第3回自然環境保全基礎調査1988）参照
②緩衝帯の配置	緩衝帯の面積（ ）m ² ※中高木の樹木による緩衝帯 緩衝帯の面積／行為面積＝（ ）％ ※計画平面図に緩衝帯の配置を明示すること。
③振動・騒音の抑制	a. 低振動・低騒音仕様の建設機械を使用 （機械名： ） b. その他の振動・騒音対策 （ ）
④濁水対策 （採石法に基づき岩石を採取する場合を除く。）	a. 施工に先立ち貯留施設を設置 b. 沈砂池を設置 c. その他の対策（ ） ※沈砂池を設置する場合は、設計計算書と図面を添付すること。
⑤濁水対策 （採石法に基づき岩石を採取する場合）	採石技術指導基準書による措置の状況 （ ）
⑥排水の計画	年間を通して流水のある自然の谷の流域について a. 現状の流域界を変更する b. 現状の流域界を変更しない

（景観の保全）

基準項目	記入欄
①裸地の遮蔽	a. 既存の森林を残置 b. 高密度の植栽 c. その他の対策（ ）
②稜線の分断 [保全・活用地区]	a. 稜線を分断する b. 稜線を分断しない
③盛土及び切土の高さ [回廊地区]	盛土の高さ（ ）m 切土の高さ（ ）m ※行為地内における最大値を記入すること。
④石垣の保全	a. 現状のまま保全 b. 材料として利用 c. その他 （ ）
⑤天然林の保全 [回廊地区]	水辺の天然林 a. 全てを保全 b. 一部を伐採 c. その他（ ）
	伐採率 (100m ² 以上の伐採) 行為地内の天然林の面積（ ）m ² 伐採面積（ ）m ² 伐採率；伐採面積／天然林の面積（ ）％
⑥法面等の緑化 <small>のりめん</small>	a. 在来種の苗木による植栽 b. 在来種の種子の吹き付け c. その他の工法（ ）

備考 記入欄は、該当記号（a、b、c）を○印で囲み、（ ）内は、必要事項を記入すること。